

にちなん 議会だより



観光客でにぎわう「猪八重溪谷」(日南市北郷町)

[第2号の主な内容]

- ①第2回、第3回臨時会及び第4回定例会での審議内容及び結果一覧
.....(2ページ～6ページ)
- ②合併後初の一般質問に24人が登壇〔質問・答弁の一部を掲載〕
.....(7ページ～13ページ)
- ③常任委員会報告ほか(14ページ～)

《 審 議 結 果 一 覧 》

第2回臨時会で審議した議案とその結果

番 号	議 案 名	付 託 委員会	審 議 結 果	
			委員会	本会議
議案第2号	日南市副市長定数条例の一部を改正する条例	—	—	原案可決
議案第3号	日南市副市長の選任について	—	—	原案同意
議案第4号	日南市副市長の選任について	—	—	原案同意
議案第19号	日南市、南那珂郡北郷町及び同郡南郷町の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例	—	—	原案可決
議案第5号	日南市教育委員会委員の任命について	—	—	原案同意
議案第6号	日南市教育委員会委員の任命について	—	—	原案同意
議案第7号	日南市教育委員会委員の任命について	—	—	原案同意
議案第8号	日南市教育委員会委員の任命について	—	—	原案同意
議案第9号	日南市教育委員会委員の任命について	—	—	原案同意
議案第10号	日南市監査委員の選任について	—	—	原案同意
議案第11号	日南市監査委員の選任について	—	—	原案同意
議案第12号	日南市公平委員会の委員の選任について	—	—	原案同意
議案第13号	日南市公平委員会の委員の選任について	—	—	原案同意
議案第14号	日南市公平委員会の委員の選任について	—	—	原案同意
議案第15号	日南市固定資産評価員の選任について	—	—	原案同意
議案第16号	日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	—	原案同意
議案第17号	日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	—	原案同意
議案第18号	日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	—	原案同意
議員提出議案 第4号	日南市議会委員会条例の一部を改正する条例	—	—	原案可決
議員提出議案 第5号	日南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	—	—	原案可決

第3回臨時会で審議した議案とその結果

番 号	議 案 名	付 託 委員会	審 議 結 果	
			委員会	本会議
議案第20号	平成21年度日南市国民健康保険特別会計予算	厚 生	原案可決	原案可決
議案第21号	日南市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総務文教	原案可決	原案可決
議案第22号	日南市国民健康保険税条例	厚 生	原案可決	原案可決
議員提出議案 第6号	市長の専決処分事項の指定について	—	—	原案可決
議員提出議案 第7号	国道220号青島～日南改良事業一時凍結早期解除を求める意見書	—	—	原案可決

第4回定例会で審議した議案とその結果

番 号	議 案 名	付 託 委員会	審 議 結 果	
			委員会	本会議
報告第19号	日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	—	—	終 了
報告第20号	平成20年度日南市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	終 了
報告第21号	平成20年度日南市後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	終 了
報告第22号	平成20年度日南市簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	—	終 了
議案第23号	平成21年度日南市一般会計予算	予算審査	原案可決	原案可決
議案第24号	平成21年度日南市老人保健特別会計予算	厚 生	原案可決	原案可決
議案第25号	平成21年度日南市後期高齢者医療特別会計予算	厚 生	原案可決	原案可決
議案第26号	平成21年度日南市介護保険特別会計予算	厚 生	原案可決	原案可決
議案第27号	平成21年度日南市病院事業会計予算	厚 生	原案可決	原案可決
議案第28号	平成21年度日南市簡易水道特別会計予算	建設水道	原案可決	原案可決
議案第29号	平成21年度日南市大島簡易水道特別会計予算	建設水道	原案可決	原案可決
議案第30号	平成21年度日南市農業集落排水特別会計予算	建設水道	原案可決	原案可決
議案第31号	平成21年度日南市漁業集落排水特別会計予算	建設水道	原案可決	原案可決
議案第32号	平成21年度日南市公共下水道事業会計予算	建設水道	原案可決	原案可決
議案第33号	平成21年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計予算	建設水道	原案可決	原案可決
議案第34号	平成21年度日南市水道事業会計予算	建設水道	原案可決	原案可決
議案第35号	日南市表彰条例	総務文教	原案可決	原案可決
議案第36号	日南市議会政務調査費の交付等に関する条例	総務文教	原案可決	原案可決
議案第37号	日南市営旅客船の設置等に関する条例の一部を改正する条例	総務文教	原案可決	原案可決
議案第38号	日南市休日夜間急病センター条例の一部を改正する条例	厚 生	原案可決	原案可決
議案第39号	日南市営住宅条例の一部を改正する条例	建設水道	原案可決	原案可決
議案第40号	平成21年度日南市一般会計補正予算(第1号)	予算審査	原案可決	原案可決
議案第41号	平成21年度日南市病院事業会計補正予算(第2号)	厚 生	原案可決	原案可決
議員提出議案 第8号	北朝鮮の核・ミサイル発射実験に抗議する決議	—	—	原案可決
議員提出議案 第9号	教育予算の拡充に関する意見書	—	—	原案可決
陳情第1号	安全・安心な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情	総務文教	継続審査	継続審査
陳情第2号	「共同出資・共同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定を国に求めることについての陳情書	産業経済	継続審査	継続審査
陳情第4号	埋め立てられた公有水路の復元に関する陳情	建設水道	継続審査	継続審査
請願第5号	JR不採用問題の早期解決を求める意見書に関する請願書	総務文教	継続審査	継続審査
請願第6号	消費税によらない「最低保障年金制度」の創設を求める請願	厚 生	継続審査	継続審査
請願第7号	物価に見合う年金引き上げを求める請願	厚 生	継続審査	継続審査
陳情第8号	教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	総務文教	不採択	採 択
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	—	原案同意

第二回臨時会

平成二十一年第二回臨時会は、五月十八日に開催されました。

合併に伴う市長選挙後の初議会であり人事案件が主な内容でした。市長提出議案十八件、議員提出議案二件を審議しました。

採決の結果、すべての議案について原案可決（同意）されました。

人事案件

☆副市長の選任について(二名)

〔副市長〕 倉岡清美 氏（元北郷町長）
阪元勝久 氏（元南郷町長）

☆日南市教育委員会の委員の任命について(五名)

〔教育委員〕 梅田明人 氏（吾田東）
安野喜宏 氏（吾田東）
峰松俊夫 氏（飫肥）
松浦茂晴 氏（北郷・郷之原）
郡司驥一郎 氏（南郷・外浦）

☆日南市監査委員の選任について(二名)

〔監査委員〕
村山昭男 氏（識見を有する者）
渡邊倫章 氏（議会選出）

☆日南市公平委員会の委員の選任について(三名)

〔公平委員〕
小玉十八子 氏（東郷）
河野秀昭 氏（平野）
谷山孝雄 氏（北郷・宿野）

☆日南市固定資産評価委員の選任について(一名)

〔固定資産評価員〕
池田泰千 氏（税務課長）

☆日南市固定資産評価審査委員会の委員の選任について(三名)

〔固定資産評価審査委員〕
木下匡巨 氏（上平野）
落丸正博 氏（益安）
荒木孝博 氏（南郷・賛波）

条例

☆日南市、南那珂郡北郷町及び同郡南郷町の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例

平成二十三年三月三十一日までの間に限り、地域自治区の区長に代えて「事務所の長」を置くことに伴い、地域自治区の設置に関する協議に定められた事項を変更する必要が生じたので、条例を制定するもの

議員提出議案

☆日南市議会委員会条例の一部を改正する条例

会派の構成等の変更に伴い、議会運営委員会の定数並びに資格審査委員及び懲罰委員の定数を読み替える附則を改正するもの

☆日南市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

日南市議会議員の任期満了等における当月の報酬の支給方法を、日割り計算に改めること及び会議に出席する場合に支給する費用弁償の範囲を改める必要があるので改正するもの

第二回臨時会

平成二十一年第三回臨時会は、五月二十九日に開催されました。

平成二十一年度の国民健康保険特別会計予算及び国民健康保険税の税率や納期を定める条例の制定等、市長提出議案三件、議員提出議案二件を審議しました。

採決の結果、すべての議案について原案可決されました。

条例

☆日南市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告に基づく国家公務員の給与と改定に準じて、本市一般職等の職員の期末手当及び勤勉手当等並びに特別職の期末手当について所要の改正を行うもの

※議案の主な内容や総務文教委員長報告は、後ほどの「総務文教委員会」のページに掲載しております。そちらをご覧ください。

国保税決まる！

☆平成二十一年度日南市国民健康保険特別
会計予算

☆日南市国民健康保険税条例

※議案の主な内容や厚生委員長報告は、後ほどの「厚生委員会」のページに掲載しております。そちらを参照ください。

国民健康保険税の税率

所得割	医療保険分	6.75%
	後期高齢者支援金分	1.85%
	介護保険分	1.89%
資産割	医療保険分	16.30%
	後期高齢者支援金分	4.00%
	介護保険分	10.00%
均等割	医療保険分	19,700円
	後期高齢者支援金分	4,900円
	介護保険分	7,600円
平等割	医療保険分(特定世帯以外)	19,000円
	後期高齢者支援金分(特定世帯以外)	4,700円
	介護保険分	4,700円

議員提出議案

☆市長の専決処分事項の指定について

地方分権の推進に伴い、議会の役割を明確にするとともに、行政の迅速化に資するため、市長が専決処分する事項を指定したものを

☆国道二百二十号青島～日南改良事業一時凍結早期解除を求める意見書

国道二百二十号は、宮崎市を起点に日南市、串間市を経て鹿児島県霧島市に至る沿線住民の生活道路であり、さらに農林水産物の流通及び商工業・観光の産業振興、また震災時における緊急輸送道路として地域振興の生命線であるとともに、緊急対応時においても「命の道」といえる重要幹線道路であります。

しかしながら、当国道は、異常気象時に連続雨量が百七十mmに達しますと、異常気象時通行区間として交通止めの規制を受ける路線であります。

これまでの青島～日南改良事業により、富士・小目井及び青島バイパスが開通し、さらには堀切峠トンネルが開通したことにより、異常気象時通行規制区間は、小内海～富士区間(四、五km)と宮浦～風田地区の区間(十一、二km)が残されています。

このような中、国におかれては、事業評価手法について計算方法の見直しを行われ、走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少の三便益による事業評価の点検を実施され、青島～日南改良事業を含む、値が1以下の事業区間の平成二十一年度事業執行を当面見合わせることを求めました。

しかし、地区住民を含めて私どもが心から求めておりますのが、いつでも安心・安全に通行のできる国道整備であります。

つきましては、国の示される三便益だけでなく、整備の可否が決められますことに断固反対しますとともに、改めて地域の実情をご監察いただき、一時凍結を早期に解除していただくよう強く要望するものであります。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣

第四回定例会

平成二十一年第四回定例会は、六月二十二日に開会し、七月十四日までの二十三日間の日程で開催されました。

平成二十一年度一般会計予算をはじめとする市長提出議案二十件、議員提出議案二件、報告四件、請願・陳情七件を審議しました。

採決の結果、原案可決二十一件、原案同意一件、採択一件、継続審査六件となりました。

二十一年度一般会計予算の概要

合併後、暫定予算を編成して執行してきましたが、今回、これまでの暫定予算に代わる平成二十一年度本予算を編成しました。

一般会計予算の主な重点事業

☆種子島周辺漁業対策事業

〔五千二百九万二千元〕

平成十九年度及び二十年度事業で、南郷漁業協同組合の水揚げ荷捌き施設が設置されたが、本年度では、漁船員休養施設を同荷捌き施設二階に設置することにより、漁業労働力確保の有効な手段となるとともに、生産意欲の増大に寄与するため助成するものです。

☆楠原住宅建替事業

〔三億四千二百六万三千元〕

バリアフリー等住環境に配慮した建替事業に平成十九年度から着手しているが、本年度は、現在、施工中の一棟目建築工事に加え、合併処理浄化槽、駐輪場などの工事等を行うものです。

☆歴史的景観を生かしたまちづくり

〔二億一千十万元〕

まちづくり交付金を利用した次の五つの事業を実施するものです。

- ①高質空間形成施設事業(七千六十万円)
- ②まちづくり活動推進事業(二百万元)
- ③油津赤レンガ館整備事業(一億二千五百十万元)
- ④景観形成推進事業(二千万円)
- ⑤まちづくり交付金事業活用調査費(六百万元)

☆北郷小学校大規模改修改造事業

〔一億四千二十三万二千元〕

幼少中一貫教育に伴う施設整備の一環で、施設の老朽化に伴うトイレ設備や倉庫、雨漏り防止、内外部壁面改修等を行うものです。

☆乳幼児医療費助成事業

〔二億千八百六十五万円〕

乳幼児期における疾病の早期発見を促進するとともに入院治療を容易にし、乳幼児の保健福祉の増進と健全な発育の促進を図るため乳幼児の医療費を助成するものです。

《六月定例会の主な日程・経過》

六月二十二日

【本会議】

開会

会議録署名議員指名、会期決定

報告案件一括上程

提案理由説明、質疑

議案一括上程／提案理由説明

六月二十三日

【本会議】

議案に対する質疑、委員会付託

【委員会】

予算審査特別委員会全体会議

七月一、二、三、六日

【本会議】

市政に対する一般質問

七月七日

【本会議】

市政に対する一般質問

請願、陳情の各常任委員会付託

追加議案上程

提案理由説明、質疑、委員会付託

七月八、九、十日

【委員会】

特別及び各常任委員会付託案件審査

七月十四日

【委員会】

予算審査特別委員会全体会議

【本会議】

特別及び各常任委員長審査結果報告

質疑、討論、採決

選管委員・補充員選挙、農業委員推薦

議員提出議案上程

提出者趣旨説明、質疑、討論、採決
閉会

報告案件

☆日南市土地開発公社の経営状況の報告

土地開発公社の経営状況について、平成

二十年度の決算報告及び平成二十一年度の

事業計画を地方自治法第二百四十三条の三

第二項の規定に基づく報告です。

☆平成二十年度日南市一般会計繰越明許費

繰越計算書の報告

☆平成二十年度日南市後期高齢者医療特

別会計繰越明許費繰越計算書の報告

☆平成二十年度日南市簡易水道特別会計

繰越明許費繰越計算書の報告

以上、三件については、繰越明許費の確

定について、地方自治法施行令第四百十六

条第二項の規定に基づく報告です。

議員提出議案

決議一件、意見書一件の計二件が議員提

出議案として提案されました。

☆北朝鮮の核・ミサイル発射実験に抗議す

る決議

☆教育予算の拡充に関する意見書

以上、可決された意見書については、関

係行政庁へ提出されました。

人事案件

☆人権擁護委員の推薦につき意見を求める

ことについて

南壽敏郎 氏（春日・再任）

☆日南市選挙管理委員会委員候補者につい
て(四名)

地方自治法第百八十二条第一項の規定に基

づき、以下の四名を選挙管理委員候補者とし

て決定しました。なお、任期は四年間。

杉村國彦 氏（油津）

三浦 和 氏（飲肥）

井上正廣 氏（南郷／目井津）

守山正之 氏（北郷／郷之原）

☆日南市選挙管理委員会委員補充員候補

者について(四名)

地方自治法第百八十二条第二項の規定に

基づき、以下の四名を選挙管理委員補充者

候補者として決定しました。なお、任期

は、四年間。

一位 斉藤一二三 氏（酒谷）

二位 田中正吉 氏（南郷／榎原下講）

三位 松尾昭憲 氏（北郷／大藤）

四位 福江康博 氏（星倉）

☆日南市農業委員会委員の推薦について

(四名)

市長から議会より四名以内の推薦依頼が

ありましたので、以下の四名を議会から推

薦者として決定しました。なお、任期は、

本年七月二十日から平成二十四年七月十九

日まで。

森山裕子 氏（大窪）

蓑毛久美子 氏（殿所）

永倉智子 氏（南郷／湯上中）

中津町子 氏（北郷／大藤）

特別委員会の設置

特別委員会は、特に必要と認められた案
件、または、常任委員会の所管に属さない
特定の案件などを審査するため、その都
度設けられる委員会です。今回、第四回定
例会において、常設の特別委員会として
左記の委員会が設置されました。

(名称)

道路・港湾等交通網整備促進
特別委員会

(設置趣旨)

東九州自動車道、国道二百二十号な
どの主要道路交通網及び重要港湾油
津港の海上交通網の整備や地方港湾
外浦港などの利活用の促進等に関す
る諸問題に対処するため、設置する
もの。

(委員)

委員長 河野哲夫

副委員長 井戸川格

委員 濱中武紀、松本 弘

田中重信、川口和也

井福秀子、谷口重紀



～市政を問う～ 合併後初の一般質問(個人質問)に24人が登壇

平成21年第4回定例会における「市政に対する一般質問」は、7月1日～7日までの間で土日を除く5日間で行われました。24人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をただしました。

<登壇者と質問項目>

- ① 濱中武紀議員 (市長の政治姿勢、教育行政、地上デジタル化、安心と安全なまちづくり、入札制度)
- ② 中尾貞美議員 (食べあるき・町あるき事業、人口対策、道路整備、市民活動活性化等での取り組み、ふるさと納税基金制度、合併での課題、農業の推進)
- ③ 倉岡郁夫議員 (市長の政治姿勢、土木行政、教育行政、新型インフルエンザ)
- ④ 野川喜美子議員 (市長の政治姿勢、妊婦健診)
- ⑤ 福岡浩一議員 (日南市体育施設の管理体制、飼肥杉需要拡大、危機管理体制)
- ⑥ 甲斐 登議員 (猪八重溪谷入口駐車場の早期整備、青少年の健全育成、文化・伝統芸能、行財政改革)
- ⑦ 磯江純一議員 (中心市街地活性化、阿久根市、教育行政、カーボンオフセット、まつり行事、リフォームサービス事業)
- ⑧ 國貞 章議員 (市長の政治姿勢)
- ⑨ 中島欽也議員 (新市の行財政の今後の課題、合併後の公金未収金対策、国民健康保険税の徴収体制、伊東洞林公の顕彰碑の周辺整備、大型店の新規出店規制及びまちづくり条例の制定)
- ⑩ 徳尾尚男議員 (観光行政)
- ⑪ 平原光則議員 (財政再建策、法定外公共物〔里道、水路〕の管理等)
- ⑫ 杉富 正議員 (市長の政治姿勢、観光行政、環境整備、スポーツ振興)
- ⑬ 田中重信議員 (財政健全化、病院事業、農業政策、教育行政、生活環境対策)
- ⑭ 鈴木教夫議員 (新市基本計画の財政)
- ⑮ 柏田登美子議員 (スクールニューディール構想、がん対策、日南市夜間急病センター事業、森林セラピー基地)
- ⑯ 谷口重紀議員 (交流人口促進など、農林水産業の振興、道路行政、防災対策、住居表示)
- ⑰ 前田幸雄議員 (妊婦健診、定額給付金、コミュニティバス)
- ⑱ 河野哲夫議員 (入札制度、有害鳥獣、釣堀公園の設置)
- ⑲ 井福秀子議員 (市民税の減免、国民健康保険、こどもの貧困と教育、油津赤レンガ館の利活用及び改修計画)
- ⑳ 和足恭輔議員 (市長の政治姿勢、生活困窮者への支援策、介護保険の新しい認定制度、コミュニティバス運行事業)
- ㉑ 岩永憲明議員 (野猿対策、土木行政、観光行政、環境対策、教育行政)
- ㉒ 山本定則議員 (基本政策、環境問題、教育行政)
- ㉓ 川口和也議員 (市長の所信表明から、合併、医療問題、市民病院、乳幼児医療、公共交通網の整備、ケーブルテレビの利用圏拡大、デジタル放送の対応、緑のオーナー制度、国道220号改良事業の凍結)
- ㉔ 坂元啓一議員 (市長の政治姿勢、中心市街地活性化構想、原発問題、教育問題、観光事業、合併協議の総括)

8ページ以降、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

☆請願・陳情を提出される方へ☆

以下の要領でお願いいたします。

- ① 必要事項 提出者の氏名、押印、住所、電話番号
- ② 内 容 題名、本文(簡潔に)
- ③ 期 限 請願は定例会初日、陳情は一般質問初日まで
- ④ そ の 他 請願には紹介議員が必要

※様式は右図を参考にして下さい。

★★★ 請願(陳情)書式例 ★★★

<p style="text-align: center;">平成○年○月○日</p> <p>日南市議会議長 ○○ ○○ 様</p> <p style="text-align: center;">住 所 氏 名 印 紹介議員 印 (※陳情の場合に紹介議員は不要)</p> <p style="text-align: center;">○○○○○○○に関する請願(陳情)書</p> <p style="text-align: right;">(右～続く)</p>	<p>(左からの続き)</p> <p style="text-align: center;">○○○○○○○に関する請願(陳情)書</p> <p>請願(陳情)の趣旨 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>理 由 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p>
--	---



改政クラブ
濱中 武紀 議員

市長の政治姿勢について

(問) 国道二百二十号線事業凍結後の取り組みと今後の見通しはどうか。

(答) 凍結決定後、精力的に事業再開に向けて訴えてきた。今後も市議会をはじめ関係機関の皆様と事業再開に向けて今まで以上に強く訴えていく。

教育行政について

(問) 鶴戸小中一貫校の開校準備はどうか。

(答) 当初予定の平成二十二年四月の開校は難しく、今後、関係課、保護者、地域の方々と協議を進め準備していく。

安心と安全なまちづくりについて

(問) 日南・宮崎間の宮交路線バスの減便への対応は、どうなっているか。

(答) 減便による影響を報告し、協議していく。ダイヤ改正時には、宮崎交通と連携を密にし、早い段階で住民に周知していく。

(問) 各区の防犯灯の省エネ型への取替は考えているか。

(答) 早急に管理方式を調整し、方針を決定後、地域の実情を考慮し進める。

入札制度について

(問) 入札の地域要件を区から地区単位への見直す考えはないか。

(答) 入札参加の機会均等の確保から、現時点では考えていない。

食べあるき、町あるき事業について

(問) この事業を盛大に促すことが、飢肥城や日南地域の観光発展に結びつくと思われる。今後、推進策はあるか。

(答) 八月から本格実施に向けて、テレビ、ラジオ等のマスメディアや、県内外の旅行会社などにPRしていく。

人口対策について

(問) 今の状況では、人口は減少するばかりだが、人口対策としての構想は打ち出せないか。

(答) 総合的な観点から、どのような対策が、本市にとって有効かつ効果的であるか検討していく。

道路整備について

(問) 向田線の峠、手前百メートル区間の改良工事を推進はできないか。

(答) 今後、交通の実態も見ながら、実施の方向性を検討していく。

農業の推進について

(問) 吉野方は場整備事業では、今後土地の有効利用を図ることで、転作としてカボチャ栽培を計画されている。栽培促進については、どのように取り組むのか。

(答) 水田農業構造改革交付金の、新品目導入助成の対象品目であり、販売についても契約栽培となる。



改政クラブ
中尾 貞美 議員



改政クラブ
倉岡 郁夫 議員

議員報酬格差について

(問) 在任期間特例中の議員報酬は、旧三市町で異なっているがどう考えるか。

(答) 特別職報酬等審議会・合併協議会で十分検討審議されたものである。

職員の夫婦共働きについて

(問) 何組の共働き夫婦がいるのか。そのうち、二人とも管理職についている夫婦は何組あるのか。

また、臨時職員は何人いるか。今後の改革をどう考えるか。

(答) 共働き夫婦は七十三組で、役職についている夫婦は十一組である。臨時職員は二百七十八人。嘱託職員は百五十九人で、今後は人員削減に努めていく考えである。

広渡川の河川改修について

(問) 今後の北郷区内の河川改修計画と、堆積土除去、撤去作業はどう考えるか。

(答) 内野川に続いて、恵良川も整備する。堆積土の捨て場については今後検討する。

新型インフルエンザについて

(問) 治療薬、予防薬(タミフル、リレンザ)マスク等の備蓄をどう考えるか。

(答) 一番有効な治療薬については、二十万人分対応の備蓄があるので充分と考える。

市長の政治姿勢について

(問) 合併協議会での協定項目のひとつに北郷町、南郷町それぞれに、地域自治区長を置くことと明記されている。しかし市長は、この決定項目を破棄して二人副市長制を採用し、地域自治区長を実質二年間凍結された。今後この地域自治区長をどのように取り扱われるか。

(答) 新市の均衡ある発展への基礎を築くために、住民の信頼も厚く、旧二町に精通されている両氏を迎えることにした。二十三年四月以降の取扱いについては状況を踏まえて検討する。

妊婦健診について

(問) 国は第二次補正予算で妊婦健診の助成額を約十一万八千円とした。この金額の補助があれば、ほぼ無料で十四回の健診が受けられる。日南市で妊婦健診の無料化が図られていないのはなぜか。例えば苦しい財政状況であっても市の独自性を打ち出し、妊婦健診から出産費用までの無料化を図り「日南市は、日本一子育てしやすい街」と発信することは、定住化施策にも繋がる。

(答) 補助額においては時限措置であることもあり、本市の厳しい財政状況を考慮しながら健診費用のほぼ半額の六万六千二百二十円とした。



改政クラブ
野川 喜美子 議員



新市民自由クラブ
福岡浩一 議員

市の体育施設の管理体制について

(問) 合併に伴い、新日南市には多くの素晴らしい体育館・陸上競技場・野球場その他付帯施設等があるが、その管理については市が募集を行い、管理人を設置し、メンテナンス業者に委託している状況である。これらの管理を全て、法人化した体育協会等の施設管理協会に指定管理委託する考えはないか。このことにより、地元出身スポーツ専門選手の雇用確保・管理技術の習得による外部委託削減による経費削減など効率的な管理運営が図れるかどうか。

(答) 現在の管理体制は、簡易な整備など職員で行っている。施設数も増え老朽化した施設もあり維持管理の経費の増加も懸念されることから、施設の費用対効果や業務の委託化の検証を行い、適正な管理運営の整備に努める。

鉄肥杉需要拡大について

(問) 新鉄肥杉課設置に伴い、新たな取り組みはあるのか。

(答) 六月に再スタートした鉄肥杉課は、鉄肥杉製品の新たな商品開発、鉄肥杉を核とした街づくり事業などに取り組む。

(問) 森林整備の競争入札の状況はどうか。

(答) 県は十月から実施するが、他の市町の動向を勘案して決める。

猪八重溪谷人口の駐車場整備について

(問) 森林セラピー基地認定に伴い来訪者が急増したが、駐車場整備をするのか。

(答) 平成二十年度の利用者数三万人と飛躍的に増加した。新たな駐車スペースの確保に取り組む。

スポーツ少年団等の施設利用について

(問) 市内全施設を無料にできないか。

(答) 今後、使用料の公平化、均衡化を考え統一化を図る。

青少年健全育成に対する助成について

(問) 旧北郷町、南郷町ではスポーツ少年団に活動助成金を交付していたが、合併後削除された。助成を再開してはどうか。

(答) 新日南市スポーツ少年団の結成により規定や事業計画、予算等が協議された中で決定された。

文化、芸能について

(問) 十一月開催の県民芸術祭及び芸術文化振興に助成金を付けては。

(答) 予算措置はできないが広報や回覧等で周知に努力する。

行財政改革について

(問) 市長は、十年間に職員数を百七十人削減すると公約したが不十分ではないか。

(答) 社会経済情勢の変化に対応し、行財政改革大綱の中で適正に管理する。



新市民自由クラブ
甲斐 登 議員



新市民自由クラブ
磯江 純一 議員

中心市街地活性化について

(問) 油津赤レンガ館の将来像、全体像が見えてない中、第一回臨時議会での専決処分七千四百万円と今定例会の委員会付託一億二千五百万円をどのように理解し、受け止めるべきか。

(答) これからの港地区の歴史的、文化的資産を活かしたまちづくりと中心商店街との連携による賑わいの創出が中心市街地の活性化に大きく寄与すると考えており油津赤レンガ館の整備、利活用は大変重要な位置にある。このような前提にたち、利活用検討委員会を中心に検討してきた。なお、事業予算については、まちづくり交付金事業であり、今年度までが事業期間になっていることから継続事業として国庫補助金の申請が必要であり、暫定予算の中で専決処分をしたものである。しかし、昨年度末に利活用、整備方針が確定し、予算の増額を提案した。

(問) 港地区のみなさまの利活用に対しての否定的な声強い中、高額な公金を投じてまでもやらなければならぬ事業なのか。耐震補強と内部改装程度でも利活用できるのではないか。

(答) 地域活性化のために是非やりたいと考えている。

市長マニフェストに対する検証について

(問) 市長選で掲げたマニフェストは、抽象的ある。どのように具体化しようとしているのか。

(答) 主な取り組みとしては、自主自立できる新日南市の基盤を早期に確立するために行財政改革を進め、ムダをなくし、経費の削減をしながら、行政のスリム化を図り民間活力の導入等を行っていく。

(問) 観光開発等が挙げられているが、現在の計画など開発が点の開発になっているので、将来的なプランとして、面的な開発プランが必要ではないか。例えば、油津赤レンガ館等。また、合併後すでに、南郷、北郷の周辺地区の人口減少が進んでいるように思える。これらの動きにも注意して取り組む必要があるのではないか。

(答) 今後は、新市基本計画の体系を基本として本年度作成する総合計画、財政計画並びに行財政改革大綱の中で、市の施策、振興方策を定め具現化していく。

(問) 市民やそれを代表する議員の声を十分に聞く姿勢が重要であり、市職員(部長級)の声に重点が置かれている気がするが。

(答) 「市政は経営なり」をモットーに「あなたと創る夢のあるまち」を基本理念として推進していく。



新市民自由クラブ
國員 章 議員



新市民自由クラブ
中島 欽也 議員

合併後の未収金対策について

(問) 税金及び使用料滞納対策をどうするか。

(答) 未収金対策プロジェクトチームの重要性から庁内関係職員の情報共有、滞納処分強化と連携、徴収率向上に全庁的な取り組みを実施していく。

(問) 行政サービスの制限をどうするか。

(答) 市税や使用料等の負担の公平性、健全な市政運営の観点から、行政サービスの制限は避けられないので今後(制限条例)の制定を含めて検討する。

(問) 収納率向上にコンビニ納付はどうか。

(答) 早急に導入を図る。

(問) 滞納者に対する納付指導が大切であるがどうしているのか。

(答) 悪質な滞納者には、預金、給与等の差し押さえ、さらにタイロック等を行う。

伊東洞林公の顕彰碑周辺の整備について

(問) 堀川運河の開削時に功績を治められた飢肥藩主、伊東祐実(伊東洞林公)顕彰碑の周辺が荒れている。観光を推進するには景観が大切である。まして、過去の偉人に対する敬意を表す意味でも整備してはどうか。

(答) 顕彰碑のある土地の借主と協議していく。

観光行政について

(問) 合併後の観光開発をどのように進めていくのか。

(答) 新市になり、見る観光、食べる観光体験する観光など、一泊二日では足りないほどの、豊富な観光資源を有することになった。今がチャンスである。

今後は、研究を重ね、この豊富な観光メニユーを活かした観光ルートを確立し、滞在型観光を目指す。

(問) マニフェストに出されている岩切章太郎賞に込める活性化とはどういうことか。

(答) 市民の「おもてなしの心」の賜であり、これからの観光日南の発展を期待される受賞であると考えている。これからの観光ガイドボランティアの養成など、受け入れ体制の充実を図っていく。

(問) 堀川運河を中心とした観光の目玉として、筏流しの筏を改良して、周遊できる観光ルートの開発は考えられないか。

(答) 筏の改良は、安全性が図られないため、現時点では、困難である。

(問) 鶴戸神宮・榎原神社・潮獄神社を三社参りとしての観光ルートの開発は考えられないか。

(答) 観光ルートとしての可能性を検討する。



新生クラブ
徳尾 尚男 議員



新生クラブ
平原 光則 議員

財政再建策について

(問) 人件費の削減計画はどのように実行していくのか。

(答) 当面、新市基本計画で示している財政計画を指針とし、実行していく。今後、適正な定員管理、給与・手当等の見直しを検討する。

(問) 削減計画への取り組み手順は、どのように考えているのか。

(答) まず、各課等のヒアリングを実施する。結果を各課等に提示して調整を行う。その後に、労働組合へ提案し、妥結後に正式決定を行う。計画決定は逐次、検証を行い、より効果的な行政経営に努める。

里道・水路の管理について

(問) 鶴戸地区の公有水路の位置の確認情報に対する市当局の対応は適正と思うか。

(答) 関係者全員の現地立ち会いを実現することができず、法定外水路の位置を提示するまでに至らなかった。今後は、当事者からの申し出があれば、誠意をもって対応する。

(問) 里道の幅員の確定作業マニュアルはあるのか。

(答) 境界確認事務を効率的に進めるためにも、早急に策定する。

市長の政治姿勢について

(問) お年寄りにやさしく、生涯元気で暮らせる地域社会づくりとあるが、これをどう進めるのか。

(答) 本年三月に策定した「日南市高齢者保健福祉計画及び第四期介護保険事業計画」に沿って事業を推進する。

観光行政について

(問) 飢肥城下町食べ歩き、町歩き事業は今後どうつないでいくのか。

(答) 八月からの本格実施に向け、積極的にPRに努める。油津地区については、飢肥地区との連携を図りながら、取り組みができるように支援していく。

環境整備について

(問) 元楠原職業訓練校跡地周辺の道路は狭い。道路管理者はどこか。

(答) 日南市となる。周辺全体の現地調査は、今後計画したい。

(問) 八月二十五日開催の新日南市誕生記念・NHK「特別巡回ラジオ体操」のPRについては、どのような方法を考えているのか。

(答) 市内回覧や広報にちなみお知らせ版、市ホームページ、新聞等を通して市民への周知を図る。



新生クラブ
杉富 正 議員



清風会
田中 重信 議員

財政健全化について

(問) 十年後の日南市をどう想定したか。

(答) 人口五万四千三百人、予算規模二百二十六億三千六百万円、市債残高二百八十六億八千四百万円とした。

(問) 未納金残高と対策についてはどうか。

(答) 総額は十億七千四百万円で、特に、保育料と給食費については教職員、PTAの協力も得ながら回収に努める。

日南市中部病院について

(問) 累積赤字十億円の経営責任は無いか。

(答) 一連の累積赤字は、全面改築の償還金や医師不足、診療報酬引き下げによるものであり、経営責任は考えていない。

農業政策について

(問) 市とJAが協同出資の農業生産法人

法令違反就業実態について責任は無いか。

(答) 当該法人については三分の一の約五百万円を出資している。経営責任については全てJAにあるが、就労実態を調査する。

学校教育について

(問) 新たな食育の取り組みはどうか。

(答) 今年度から「のびのび食育実践事業」に取り組み、生産者やJAなどの協力を得て地産地消を推進し、地場産物に誇りを持ち、生産者へ感謝できる児童生徒の育成に努めている。

新市基本計画の財政について

(問) 合併協議会でまとめた新市基本計画は市民合意の協定書であり、実効性のある対応がなされるべきである。財政面について市長の考えはどうか。

(答) 新市の円滑な運営の確保及び均衡ある発展を図るため、まちづくりの基本方針として定めたもので、これに基づく主要事業に取り組み、健全な財政運営に努める。

消防・救急対策事業について

(問) 北郷・南郷消防出張所の設置時期と場所はどうか。

(答) 平成二十三年四月一日の設置に向け、北郷町は総合支所の敷地内、南郷町は防災センターに設置予定である。

公営住宅下水道整備事業について

(問) 北郷町、鶴之木公営住宅下水道整備は、平成二十一年度から四年間事業(総額二千七百万円)として計画どおり実施するのか。

(答) 二十一年度の旧北郷町における総合計画では八百万円の工事計画であったが、今年度予算六百万円の範囲内で、実施するよう、工事内容を検討中である。また、今後の実施箇所、費用については新たに策定する総合計画の中で調整していく。



公明党日南市議団
鈴木 教夫 議員



公明党日南市議団
柏田 登美子 議員

スクールニューディール構想について

(問) 学校耐震化の現状と計画はどうか。

(答) 北郷小の体育館、湯上小の教室二棟、南郷中の教室三棟が未完了。北郷小、南郷中が本年度に補強完了。湯上小は来年度に実施する計画である。

(問) ICT機器の設置計画はあるのか。

(答) 全小中学校に電子黒板及び教師用パソコンを全小中学校に整備の予定である。

がん対策について

(問) 乳がん、子宮頸がん検診が単年度、年齢別に無料となった。実施はいつ頃か。

(答) 対象者を抽出し八月中旬にクーポン券、検診手帳の送付を行うため準備中である。

(問) 前立腺がんの定期検診及びPSA検査導入の考えはないか。

(答) 特定健康診査等、セットや単独で実施する方法があり、現在検討中である。

市夜間急病センター事業について

(問) 担当内科医数、外科診療ができない理由は何か。

(答) 二十八人の内科医が中心で、外科は診療科目として体制がとれない。

(問) コンビニ受診を抑制するため、県に自動転送される小児救急電話相談事業「井八〇〇〇」の普及推進すべきではないか。

(答) 今後、広報等で周知徹底していく。

交流人口促進などについて

(問) 海中公園のサンゴ礁群が少なくなった。何が原因と考えるか。

(答) 海の汚染、温暖化等による磯焼けだ。

(問) サンバや新日南音頭で市を盛り上げている文化芸術団体に支援はできないか。

(答) 市のイベント等への参加など、できる限り協力する。

農林水産業の振興について

(問) 漁業のVMS(位置発信装置)の取付けの制度化をどうするか。

(答) 国際的な資源管理の立場でVMSの搭載義務化と、搭載しない漁船についてはカツオ、マグロ類を漁獲対象から外すよう国や県へ強く要望する。

道路行政について

(問) 市道下方子森坂線をどうするか。

(答) 大型車の通行が多い。今後は、通行量の状況を見て対策を検討する。

(問) 楠原公民館入口までの里道が崩れかかっている。改修できないか。

(答) 現場調査をしたが、早急な対応は必要ないと考えている。

防災対策について

(問) 戸高川上流の台風被害跡は、大型土のうが積んだままだが、今後どうするか。

(答) 応急的措置で現状を見守る。



公明党日南市議団
谷口 重紀 議員



公明党日南市議員
前田 幸雄 議員

妊婦健診について

(問) 平成二十一年度までの時限措置だがその後の本市の取り組みはどうするのか。
(答) 国に対し支援措置の延長と拡充について、市長会等で要望していく。

(問) 出生後の推移はどうなっているのか。

(答) 過去五年間において若干の伸びがあり、年間平均数は四百五十人である。

(問) 飛び込み出産はあったのか。

(答) 旧日南市で平成十八、十九年度にそれぞれ一件ずつあり、旧北郷町では二十年度に一件、旧南郷町では発生していない。

定額給付金について

(問) 給付状況はどうなっているのか。

(答) 六月十九日現在での申請済み世帯数及び申請率は二万五千六百五十世帯、給付対象世帯の九五・六一%である。

(問) 未給付者数はどうなっているのか。

(答) 未申請世帯は一千百七十七世帯で、給付世帯の四・三九%である。

コミュニティバスについて

(問) 九カ月経つが問題は起きてないか。
(答) 旧日南市において、一日増やし土曜日の運行を開始した。

(問) 区域外の対応策はどうされるのか。
(答) その地域における様々なニーズや課題を把握し、今後総合的に検討していく。

入札制度改革について

(問) 入札制度改革に対する見解はどうか。
(答) 発注基準は、当分の間は現行どおりとし、旧三市町発注エリアごとに、合併前の方法により実施する。

(問) 一時借入金は、指定金融機関の見積もりをとるべきではないか。

(答) 指定金融機関を含め見積もりをとり、借入先を決定している。

(問) 随意契約は、指名業者全員から見積もりをとるべきではないか。

(答) 市内業者で工事現場に近い、落札実績が少ないなどを配慮し発注している。

有害鳥獣について

(問) 猿害に対する市の対策はどうか。

(答) 現状は増えすぎであり、適正な個体数の管理が必要である。猟友会とも協力し対策を講じ、猿害対策の補助事業も実施している。

釣堀公園の設置について

(問) 釣堀公園設置で観光客が増えると思うがどうか。

(答) 県に対し、設置を要望している。

(問) 鯛等の中間育成が必要ではないか。

(答) 生存率向上のための放流基準に合った六十〜七十ミリの提供を受け、中間育成施設は、漁協などの関係機関と協議する。



新生南郷会
河野 哲夫 議員



日本共産党日南市議員
井福 秀子 議員

市民税の減免について

(問) 昨年比べて所得が少ない場合は市民税の減免ができるか。
(答) 生活保護法に係る免除対象者が三百七十七件、法人二件を減免措置した。

(問) 減免条例や規則があり、分納相談に応じることを市民に周知すべきではないか。

(答) 減免規定があることを、広報等で分納相談の案内あわせて、周知する。

国民健康保険について

(問) 滞納世帯であっても子どもに責任はない。せめて無保険の高校生まで中学生と同様に保険証を出す考えはないか。
(答) 高校生については今まで同様とする。

子供の貧困と教育について

(問) 子供の七人に一人が貧困。義務教育の保護者負担は辛い。滞納状況はどうか。

(答) 小、中合計で給食費は四十八件、約二百万円。教材費は十八件で約四十二万円。

(問) 給食費や学用品などを補助する就学援助の活用を積極的に勧めてはどうか。

(答) 今年の認定者は五百五十三人である。保護者へのきめ細かな対応に取り組む。

赤レンガ館の利活用と改修計画について

(問) 十分話し合っただけで決めたのか。
(答) 平成十七年度から十分議論してきた。

介護保険の新しい認定制度について

(問) 新認定制度は介護認定をより軽減へと導くもので、必要なサービスが受けられなくなるなどの不安・疑問を招いている。厚労省に対して、いったん従前の制度に戻せと働きかけるべきではないか。

(答) 国は要介護認定方法の見直しを検証中である。その推移を見守るが、要望等は市長会等を通じて行っていく。

(問) 名古屋市、札幌市は、「経過措置」期間に、従来の介護認定を希望した人に対して、経過措置解除後の要介護認定も通知している。本市でもそうすべきではないか。

(答) できるだけようすを進めていく。

市独自の生活困窮者支援策について

(問) 加算が廃止された生活保護受給の母子世帯、高齢者世帯に支援できないか。
(答) 保護基準による最低生活費は保障されているので、独自支援策は考えていない。

(問) 北海道東川町は、加算が廃止された一人親世帯の児童と障害者加算世帯を除く七十歳以上の世帯及び住民税非課税の一人親世帯の高校生に、月額八千円の福祉交付金を支給している。就労支援さえ受けられていない母子世帯へ支援できないか。

(答) 東川町の実施例は初めてなので、まずは勉強させていただく。



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員



社民クラブ
岩永 憲明 議員

野猿対策について

(問) 平山、益安で猿害がひどいが対策をどうするのか。

(答) 地域住民や地元猟友会と連携し、箱罾や囲い罾の設置など、効果が見込める駆除対策をモデル的に進めていく。

土木行政について

(問) 益山平山線から日南高岡線へ通じる里道を市道に昇格できないか。

(答) 復員が平均三メートルしかなく、市道の認定基準を満たしていない。

観光行政について

(問) 飢肥食ベあるき、町あるき事業がスタートした。活性化策として効果も大きいと思うが、商品の品切れや連休中に休む店舗もあった。今後の対策を聞きたい。

(答) 予想を上回る利用者で品切れとなった店もあった。イメージダウンにならないよう関係団体と連携して課題解決を図る。

環境対策について

(問) ごみ有料化に向けて、袋の質、容量、価格について検討されているのか。

(答) 「日南市ごみ対策検討委員会」で協議を重ねている。旧南郷町と同様に四十五、三十、二十リットルの三タイプとし、価格もそれぞれ四十、三十、二十円とする方向で調整している。

基本政策の農業関係について

(問) 今後の農業経営は高収益型への転換と、又新たな特産物の奨励が必要と思うがどうか。

(答) 安心、安全な食糧基地を作り、恵まれた気象条件を生かし、現在の生産体系を維持し、新たな奨励農産物導入に努める。

基本政策の漁業関係について

(問) 水産加工品の開発やブランド化の推進とはどういうことか。また昨年実施した燃油の支援は今年も実施されるのか。

(答) 漁業資源の管理体制の対策を講じ、関係機関へ要望活動を行う。そして燃油高騰対策は国の動向を見極めていく。

環境問題について

(問) レジ袋の使用削減に向けて、行政が音頭をとり施策を講じるべきではないか。

(答) 県内レジ袋ゼロ作戦協議会の設置に伴い、本市も連携してレジ袋使用削減啓発に向けて取り組んでいく。

教育行政について

(問) 朝食を摂らない児童が多いが、どのような指導・教育がなされているのか。

(答) 朝食の大切さについては、生徒には学級活動、授業等で指導し、保護者にはいろいろな通信、参観日、学級懇談、保健会などで啓発を行っている。



社民クラブ
山本 定則 議員

ヒブワクチンの補助導入について

(問) 乳幼児に重い髄膜炎を起こす細菌「インフルエンザ菌b型(ヒブ)」のワクチンが、平成二十年度から認可発売され、接種が始まった。日南市もヒブワクチンへの補助導入を取り組む考えはないか。

(答) 県内では宮崎市、綾町、清武町、国富町、都城市、高千穂町が助成を行っている。ワクチンは輸入がほとんどであり、参加者の増加が予想され、接種に混乱も予想されることから、供給状況を踏まえ検討している。

コミュニティバスへの要望について

(問) コミュニティバス運行の要望について、実現可能なものは、どの時点で変えていくのか。

(答) 要望については、早期に対応していく。

ケーブルテレビの利用圏拡大について

(問) 旧北郷町などはケーブルテレビ網が、かなりの部分まで整備されていると聞いている。そのため、新日南市では、地区間の格差が、生じているのではないか。

(答) 普及率は旧北郷町が一〇〇、旧南郷町が九八、旧日南市は八八パーセントである。これまで同様、BTVケーブルテレビへ要請していく。



社民クラブ
川口 和也 議員

小・中学校の地デジ放送対応について

(問) 対象となるテレビの数は何台か。

(答) 現在、小・中学校に設置してあるテレビの台数は、旧日南市で二百二十二台、旧南郷町で四十八台、旧北郷町では二十八台であるが、すでに対応済みである。

(問) 追加予算で購入されるテレビの数は何台か。

(答) 旧日南市で百三十七台、旧南郷町で三十四台である。

(問) 買い替えを行う場合、地元業者への発注を配慮する考えはないか。

(答) 地元業者への発注を配慮したい。

中心市街地活性化構想について

(問) 油津を再開発することが、日南市全体の発展に繋がると思われるか。

(答) いわゆるコンパクトなまちづくりを推進していくことが地域の活性化、ひいては市の発展に繋がるものと確信している。

(問) 再開発ビルにもし問題があるとすれば、例えば、6、7階建てビルを二つ建てるとかは考えられないか。

(答) それも一つの方法かと思う。

原発問題について

(問) 市長は今後も原発や中間貯蔵施設はつくらないとの考えか。

(答) とともに考えていない。



無会派
坂元 啓一 議員

常任委員会報告

日南市議会には、「総務文教委員会」、「厚生委員会」、「産業経済委員会」、「建設水道委員会」四つの常任委員会が設置されています。

ここでは、各常任委員会の付託案件審査の内容等について、委員長報告から抜粋してお知らせいたします。

総務文教常任委員会

(委員長) 平原光則 (副委員長) 安竹 博
(委員) 山本定則、倉岡郁夫、鈴木教夫
渡邊倫章、河野哲夫、田中重信
松本 弘、川口敏治、影山一雄

総務文教委員長報告

◎第三回臨時会

議案第二十一号「日南市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」。内容は、人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて、本市一般職の期末手当並びに特別職の期末手当に係わる所要の改正を行うものです。

採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。(賛成多数)

◎第四回定例会

議案第三十五号「日南市表彰条例」。内容

は、市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市政振興に寄与し、その功労が特に著しい個人や団体を表彰することにより、市の自治の振興を促進することを目的に制定するものです。

議案第三十六号「日南市議会政務調査費の交付等に関する条例」。内容は、地方自治法第百条第十四項の規定に基づき、日南市議会議員の調査研究に資するため、政務調査費を交付することに関し、必要な事項を定めるものです。

議案第三十七号「日南市営旅客船の設置等に関する条例の一部を改正する条例」。内容は、運送約款の変更に伴い、受託手荷物等の運賃の改定を行うものです。

いずれの議案も、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。(議案第三十五号及び議案第三十七号は全員賛成、議案第三十六号は賛成多数)

また、陳情第一号「安全・安心な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情」及び請願第五号「JR不採用問題の早期解決を求める意見書に関する請願」については、引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

なお、陳情第八号「教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情」については、採決の結果、賛成少数により不採択となりました。

厚生常任委員会

(委員長) 杉富 正 (副委員長) 福岡浩一
(委員) 野川喜美子、川口和也、岩永憲明
細田 勝、井福秀子、谷口重紀
井上 進、長友喜昭、坂田武人

厚生委員長報告

◎第三回臨時会

議案第二十号「平成二十一年度日南市国民健康保険特別会計予算」。予算額は五十三億五千二百六十七万六千円となりました。

議案第二十二号「日南市国民健康保険条例」。内容は、新市の国民健康保険事業の健全な運営を図るため、国民健康保険税の税率や納期等を定めるものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。(全て全員賛成)

◎第四回定例会

議案第二十四号「平成二十一年度日南市老人保健特別会計予算」。予算額は八千六百万円となりました。

議案第二十五号「平成二十一年度日南市後期高齢者医療特別会計予算」。予算額は七億四千三百万円となりました。

議案第二十六号「平成二十一年度日南市介護保険特別会計予算」。予算額は五十億七千百万円となりました。

議案第二十七号「平成二十一年度日南市病院事業会計予算」。予算額は収益的支出

が十二億八千四百二十九万円、資本的支出が一億二千七百八十万円となりました。

議案第三十八号「日南市休日夜間急病センター」の一部を改正する条例。内容は、地域住民の初期医療体制の充実を図るため、診療日等を拡充することに伴い、所要の改正を行うものです。

議案第四十二号「平成二十一年度日南市病院事業会計補正予算(第二号)」。内容は国の経済危機対策による医療機器の購入によるもので、資本的収入及び資本的支出の補正後の予算額は、それぞれ一億三百五十三万六千円、一億三千七百八十万六千円となります。

採決の結果、いずれも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、請願第六号「消費税によらない『最低保障年金制度』の創設を求める請願」及び請願第七号「物価に見合う年金引き上げを求める請願」については、引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

産業経済常任委員会

(委員長) 坂口義弘 (副委員長) 黒木盛明
(委員) 和足恭輔、山下武典、長友昭三郎
柏田登美子、坂元啓一、磯江純一
豊倉昭光、井戸川格

産業経済委員長報告

◎第四回定例会

陳情第二号「協同出資・協同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定を国に求めることについての陳情』については、引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

建設水道常任委員会

(委員長) 徳尾尚男(副委員長) 前田幸雄

(委員) 松田謙一郎、濱中武紀、中尾貞美

甲斐 登、山口 満、國貞 章

山元敏郎、中島欽也

建設水道常任委員長報告

◎第四回定例会

議案第二十八号「平成二十一年度日南市簡易水道特別会計予算」。予算額は二億七百万円となりました。

議案第二十九号「平成二十一年度日南市大島簡易水道特別会計予算」。予算額は百八十万円となりました。

議案第三十号「平成二十一年度日南市農業集落排水特別会計予算」。予算額は三千三百万円となりました。

議案第三十一号「平成二十一年度日南市漁業集落排水特別会計予算」。予算額は三千四百万円となりました。

議案第三十二号「平成二十一年度日南市

公共下水道事業会計予算」。予算額は収益的支出が六億六千九百万円、資本的支出が十二億七千六百万円となりました。

議案第三十三号「平成二十一年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計予算」。予算額は収益的支出が八千六十六万九千円、資本的支出が二億六千三百十五万四千円となりました。

議案第三十四号「平成二十一年度日南市水道事業会計予算」。予算額は収益的支出が八億五千九百六十万円、資本的支出が九億六千五百二十九千円となりました。

議案第三十九号「日南市営住宅条例の一部を改正する条例」。内容は、下方第一災害住宅及び下方第二災害住宅の用途廃止に伴い、管理対象の市営住宅について所要の改正を行うものです。

採決の結果、いずれの議案も全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、陳情第四号「埋め立てられた公有水路の復元に関する陳情」については、引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

予算審査特別委員会

議案第二十三号「平成二十一年度日南市一般会計予算」。予算額は二百四十二億五千万円となりました。

議案第四十号「平成二十一年度日南市

一般会計補正予算(第一号)」。今回の補正の内容は、国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」など、国の第一次補正予算に伴う予算について計上しています。補正後の予算額は二百五十億八千万円となりました。

採決の結果、いずれの議案も賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

《付言された意見要望》

▼議案第二十三号について

①市民税の納税義務者の把握、家屋の増改築の調査徹底など課税客体の完全把握と更なる収納率の向上に努められたい。

②人件費削減に当たっては、給与体系・人事システム等の改革に努められたい。

③公用車の機能効果を検証され、適正確保に努められたい。

④委託料(環境整備、営巣委託、衛生害虫駆除等)の予算の組み方を工夫して削減に努められたい。

⑤子ども会などへの育成、消防団の訓練の強化に努められたい。

⑥「ブックピア日南」推進の実効性を図るため、学校図書司書の増員並びに他市に比べ、整備が遅れている学校図書の充実

に、今後とも特段の配慮を図られたい。

⑦南郷清掃センターについて、クリーンセンターとの関係も含め、進むべき方向性について早急に検討されたい。

⑧地産地消の取り組みについて、学校給食における地元の農畜産物の利用割合を増やすなど、積極的に推進していただきたい。

⑨農用地の有効利用を図るため、収益性の高い農業を確立し、地域の振興に資するよう努力していただきたい。

⑩観光について、十月からの日南線観光特急列車運行は千載一遇のチャンスである。利用者増を図るため、地域住民や関係機関と協働して最大限の努力を図られたい。

⑪赤レンガ館の利活用にあたっては、公的資金は投入せず、民間の活力を生かすよう努力されたい。また、計画されている周辺整備については、市民に対し十分な説明と対応をお願いしたい。

▼議案第四十号について

①地域活性化・経済危機対策臨時交付金においても、市民の目線に十分配慮し予算執行に留意されたい。

②飼肥杉を核としたまちづくりを強力に推進するため、モデル住宅づくりや商品販売促進など各事業について全力を傾注されたい。

③住宅リフォーム促進事業について、市内業者への経済効果が高められるよう取り組んでいただきたい。

議 会 日 誌

(5月1日～7月31日・抜粋)

<5月>

- 11日 議会運営委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 14日 全国自治体病院経営都市議会協
議会総会(東京)
- 15日 広島東洋カープ・海上自衛隊呉
総監部表敬訪問
- 18日 第2回臨時会、会派代表者会議
- 20日 第1回宮崎県市議会議長会
(延岡市)
- 25日 会派代表者会議、議会運営委員会
東九州自動車道鹿児島・宮崎建
設促進期成会総会(鹿屋市)
- 26日 宮城県塩竈市議会来訪
- 27日 全国市議会議長会定期総会
(東京)
- 28日 新市民自由クラブ研修会(北郷)
- 29日 第3回臨時会、全員協議会

<6月>

- 1日 東九州自動車道日南～串間～志
布志間建設促進協議会設立総会
- 6日 関東南郷の会(東京、7日まで)
- 8日 建設水道委員会所管事務調査
- 9日 会派代表者会議
- 11日 産業経済委員会所管事務調査①
- 15日 議会運営委員会
- 17日 産業建設委員会所管事務調査②
- 22日 第4回定例会(7/14まで)
全員協議会

<7月>

- 1日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会、議会運営委員会
- 12日 在京北郷会総会(13日まで)
- 14日 全員協議会、議会改革研究会
議会だより編集委員会
- 16日 東九州自動車道日南市建設促進
協議会総会
- 28日 宮城県登米市議会来訪
- 29日 北海道登別市議会来訪



表彰伝達式(6/22 第4回定例会開会冒頭)



【永年勤続表彰】(25年以上)

井戸川 格 議員

全国市議会議長会より次の五名の方が永年勤続表彰
 を受けられたことに伴い、第四回定例会の開会に先立
 ちまして伝達式が行われました。
 長年の市政へのご貢献に対し、深く敬意を表します
 とともに、今後の更なるご活躍を祈念いたします。

表彰



【永年勤続表彰】

(15年以上)

磯江純一 議員



【永年勤続表彰】

(15年以上)

坂口義弘 議員



【永年勤続表彰】

(15年以上)

川口敏治 議員



【永年勤続表彰】

(15年以上)

豊倉照光 議員

★日南市議会ホームページ をご覧ください

[\[http://www.city.nichinan.lg.jp/modules/contents10/index.php?content_id=4\]](http://www.city.nichinan.lg.jp/modules/contents10/index.php?content_id=4)

〈掲載している主な内容をご紹介します〉

- ①議員名簿(全体名簿、各常任委員会委員名簿、議会運営委員会委員名簿)
- ②議会年間スケジュール、会期及び会期日程、提出議案一覧、議決結果
- ③会議録検索システム

※過去の旧日南市、旧北郷町、旧南郷町議会分も見ることができます。

- ④市議会の概要(機構図、議席内席表) など

あなたも「本会議」を 傍聴してみませんか?

本会議は、議会の生の声を聴くことのできる絶好の機会です。

本会議の傍聴は、議会事務局で受付をしていただくだけで、予約等の面倒な手続は必要ありません。



ぜひ、傍聴にお越しください。(次回定例会は9月7日開会予定)

委員長 田中重信

市議会だより編集委員会
 協力をお願い致します。
 申し上げます。今後ともご支援、ご
 申上げます。今後ともご支援、ご
 協力を願います。
 市議会だより編集委員会
 委員長 田中重信

編集後記

この号、または、日南市議会に関するお問い合わせは、日南市議会事務局(0987-31-1142)まで。